



正しい情報を入手し、すばやく避難。

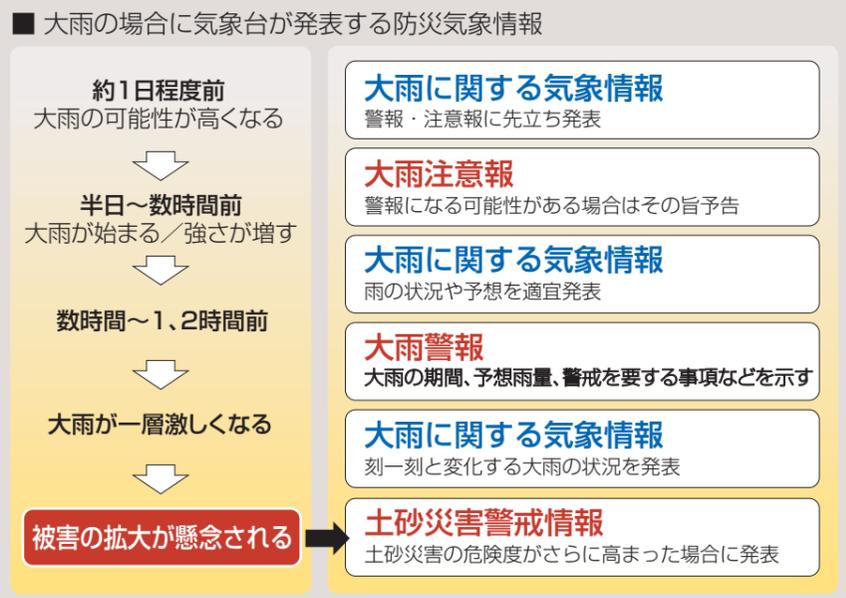
防災情報に注意

地震のあとは、少ない雨でも危険

大雨によって土砂災害発生の危険度が高まると、**都道府県と気象庁**が共同で土砂災害警戒情報を発令します。地震後は、普通の基準より少ない雨量で土砂災害警戒情報が発令されます。

雨量情報・土砂災害警戒情報はここから入手!

■ 気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/index.html>



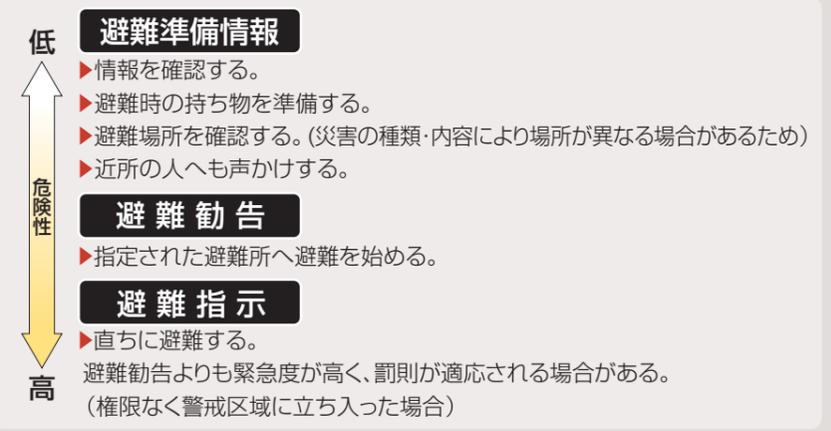
※発表はこの順番でない場合もあります。

避難のための情報

危険を感じたら早めに自主避難

避難の準備が必要になったとき、避難が必要になったときは、都道府県や市町村から情報・勧告・指示が出されます。

⚠️ ただし危険を感じたら、勧告や指示がなくても自主的に避難しましょう。



緊急連絡先を記載しておきましょう

※大きな災害が起きると、電話や電気が使えなくなる可能性がありますので注意が必要です。

最寄の市町村役場 (TEL)	(TEL)
最寄の消防署・消防団 (TEL)	(TEL)
町内会 (TEL)	(TEL)
都道府県土木事務所 (TEL)	(TEL)

地域の指定避難場所や家族で話合った避難場所を記載しておきましょう

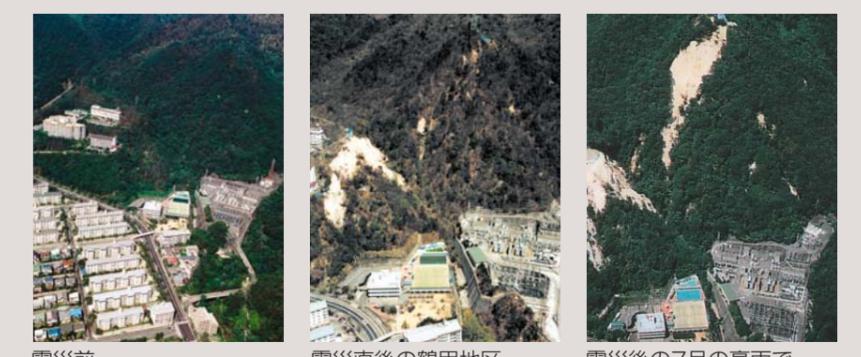
雨が降ったら 地震のあとは 土砂災害に注意!

地震によって地下の深いところまで地盤がゆるんでいます。これからの雨や雪どけ水によって、土砂災害(がけ崩れ・土石流・地すべり等)が引き起こされる危険があります。

大地震のあとに、こんなに土砂災害が例えば阪神・淡路大震災のあと、このようなことがありました。

地震後の降雨で崩壊が発生

阪神・淡路大震災で大きく揺さぶられた六甲山地区では、700ヶ所以上で山腹が崩れる等の土砂災害が発生しました。そして、地震後の雨等で、崩壊地の数は2000ヶ所に増加しました。特に、神戸市灘区の鶴甲地区では、六甲山の南斜面標高250～400m付近で地震直後に崩壊が発生し、その後の余震や降雨で崩壊が拡大しました。



震災前 震災直後の鶴甲地区 震災後の7月の豪雨で新たな山腹崩壊が発生

資料提供:国土交通省砂防部

土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりする災害のことです。地震の揺れが直接の原因となって起る土砂災害もあります。また、大きな地震のあとは、地盤が崩れやすくなっているため、少しの雨や余震でも土砂災害が起きやすくなります。



がけ崩れ(斜面崩壊)

急な斜面が崩れる

- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- くずれた高さの2倍くらいのところまで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

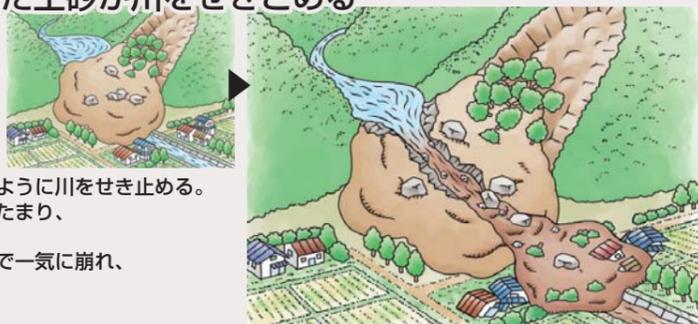
- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



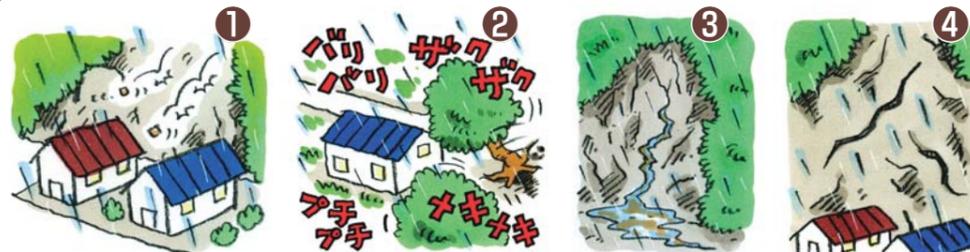
河道閉塞(土砂崩れダム)

崩れた土砂が川をせきとめる

- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 土砂ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 土砂ダムはやがて、たまった水の力で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。



がけ崩れの前ぶれ



- ① がけから小石がパラパラ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面から水がわき出る。
- ④ 斜面にひび割れができる。



避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ



- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→ 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
→ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする、異常なおいがする、地鳴りがする。
→ 上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→ 上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。



土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ



- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がザワザワとさわく。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる

- ⚠️ ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う」と感じたら、都道府県や市町村、近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。危険な場所や避難する場所は、市町村等から配布されるハザードマップ等で確認してください。
- ⚠️ 今回の地震で山や川の近くの避難所に移られた方は、雨が降ったら山や川に近づかないようにしてください。



近所にこういう看板はないですか？

このような看板が立っているところは、土砂災害の危険が大きい場所です。特に注意しましょう。

- 「土石流危険渓流」の看板 → 土石流の危険がある川や沢
- 「急傾斜危険区域」の看板 → がけ崩れの危険がある急斜面
- 「地すべり防止区域」の看板 → 地すべりが起きやすい区域